



クズ

小説『野菊の墓』（伊藤左千夫著）の中で、主人公（十五歳の少年 政夫）が想いを寄せる二歳年上の従姉（民子）から竜胆にたとえられる場面があります。これは、その前に政夫が民子を野菊になぞらえたお返しだったのでしよう。しかし、この小説の結末は、お互いの想いを伝え合うこともなく、永遠に別れてしまう悲恋となりました。

この作品の舞台は、現在の千葉県松戸市にある矢切です。矢切の渡しが二人の最後の別れの舞台となりました。



今、ふれあいの村では・・・

葉の形が鯛の骨に似ているとか、触ると痛いからとかと言われる、タイアザミの花が見頃です◆土と太陽と風の力を借り、微生物により生ゴミを分解する、『キエーロ』という名の装置が事務所の横にあります。そこからスイカの花が咲きました◆風に揺れるモミジを見ました。紅葉の時期はまだ先ですが、緑色の葉もきれいです◆リンドウの株をたくさん見つけました。開花予想は、例年通り『大地祭』の頃になるでしょう。



モミジ



タイアザミ



リンドウ



キエーロ生れのスイカ

★来月のファミリーコミュニケーションの日 10月6日(日)

10:00～12:00《自然観察会》秋の森 いろいろなキノコさがし (参加費無料)
13:00～15:00《クラフト教室》木の実や小枝を使ってワグジィなどを作る(材料費など無料)

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。
※申込み・問合せは電話などで、お気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村(南足柄市広町1507)
電話 : 0465-72-2010 FAX : 0465-72-2013
指定管理者 : 株式会社アグサ・関東学院グループ
所管課 : 神奈川県教育委員会教育局支援部
子ども教育支援課
URL : <http://www.ashigara-fureai.com/>

ふれあいの村の仲間たち



なにかあるのだろうとみていると、「あ、おちた」とくますけがおおきなこえをだしました。でも、ちゃんとかえってきたよ。よかったね。

ふれあい広場でくらしている金太郎と仲間たち。きょうはみんなでヤマユリをみにいきました。そこにはカエルがいてしきりにしたにあるなにかをみていました。みんな



★フィールドワーク★

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。

上段の左の写真の黒いところは鍋で、ふたつの鍋の間にクモが糸をかけているところです。鍋を乾かしているわずかな時間のあつという間の仕事でした。その後も作業は続いていましたがクモの姿に気づいた筆者が追い回して、写真撮影をしたのでうさがられて、どこかに行ってしまいました。あのまま、静かに観ていたら、さぞかし立派なクモの巣が完成したことでしょう。クモの巣には虫たちが罾にかかっています。でも、クモは自由自在に糸の上を歩いています。不思議ですね。

これは、横糸にはねばりがありますが、縦糸にはねばりがないからです。端の方をそおっと触って確かめてください。



クモの仲間



ジョロウグモ



ツチイナゴ幼虫



ホシハラビロカメムシ



エビイロカメムシ幼虫



スズメガ幼虫



カマキリ



ミンミンゼミ羽化

【イベントのご紹介】

※お問合せ・申込みは、足柄ふれあいの村へ電話（0465-72-2010）されるか、『足柄ふれあいの村』のホームページにアクセスしてください。

「もりっこ」のご案内

新緑の森、真夏の青空、ふっかふかの落葉、吐く息の白さとパチパチとはぜるたき火。足柄の森は自然の遊園地。四季折々の森の移り変わりを親子で体験しましょう。

実施日) 11月30日(土)【日帰り】

会場) 足柄ふれあいの村

対象) 幼児(3才以上~未就学)とその保護者、定員) 25名

参加費) ・大人(中学生以上) 800円

・3歳以上~未就学児 500円

申込期間) 9月5日(木)~10月30日(水)

「あしがらウインターキャンプ」のご案内

冬の森を舞台に、思いっきり遊び、親子で力を合わせた作品を作り、みんなで作ったご飯を食べる。足柄に集まるたくさんの家族の方々と、最高の笑顔で“あったかく”すごしましょう。

実施日) 12月14日(土)~15日(日)【1泊2日】

会場) 足柄ふれあいの村

対象) ご家族、定員) 60名

参加費) ・中学生以上 5,500円

・3歳以上~小学生 3,500円

申込期間) 10月5日(土)~11月14日(木)

11月17日(日): 今年もやります! ふれあいの村の「森の大地祭」に参加しませんか。

秋の足柄を満喫する毎年恒例の日帰りイベントです。昨年も二千を超えるお客様をお迎えしました。クラフト体験やステージ発表・各種模擬店やフリーマーケットなど、もりだくさんの企画をみんなで楽しみましょう。どなたでも無料で参加できます(一部実費)。

当日は「富士フィルム辻下グラウンド」より発着する「無料シャトルバス」をご利用ください。(駐車可)